



安曇野暮らしの ススメ





豊かな十二季を感じる

安曇野は、自然の中で人が人らしく生活できる地。四季ならず月がわりの季節。くつきりと移りゆく風景に癒されます。忘れかけていた暮らしの喜びがある街。ほどほどに田舎で、ほどほどに便利。だから、ちょうどいいのです。

安曇野市の歳時記



常念岳



安曇野花火



そばの花

- 4月 中 旬：さくら、菜の花
29日：早春賦まつり
下 旬：りんご、チューリップ
- 5月 上 旬：常念岳の雪形(常念坊)が見え始める
中 旬：安曇野水まつり お水むかえ
ユリノキ、ツツジ、ボタン、フジ
下 旬：アカシア祭り(ビレッジ安曇野)
- 6月 上 旬：蝶ヶ岳の雪形(蝶)が見え始める
信州安曇野ハーフマラソン
バラ祭り(豊科近代美術館)
中 旬：信州安曇野あやめまつり(龍門瀨公園・あやめ公園)
安曇野玉ねぎ祭り
スイレン、あじさい
下 旬：夏そば
- 7月 中 旬：有明山神社奥社祭登拝
下 旬：ひまわり、マリーゴールド
- 8月 14日：安曇野花火
中 旬：能楽鑑賞会

- 9月 上 旬：秋そば
中 旬：コスモス
26・27日：御船祭り(穂高神社)

- 10月 中 旬：安曇野水まつり お水がえし
紅葉

- 11月 イルミネーション「光の森のページェント」
(国営アルプスあづみの公園)
りんご(サンふじ)の収穫

- 上 旬：新そばと食の感謝祭

- 12月 上 旬：安曇野神竹灯(穂高神社)
Azumino.光のページェント(ビレッジ安曇野)

- 1月 上 旬：三九郎
中 旬：豊科あめ市
福俵曳き

- 2月 3日：節分祭(穂高神社)
上 旬：白鳥飛来最盛期

- 3月 17日：奉射祭(穂高神社)
下 旬：わさび、ウメ



りんご



三九郎



白鳥の飛来



わさびの花

※色文字のものは、それぞれ花や紅葉の見頃の目安です。

安曇野市ってこんなところ

〈自然と風景〉

安曇野の魅力といえば、やはり風景！四季折々移り変わる風景に惹かれて、安曇野市を移住先に選ばれる方はとても多いです。

西を見れば常念岳をはじめとする雄大な北アルプスの山々を一望でき、その山麓地帯にはトレッキングやウォーキングに最適な森林があります。

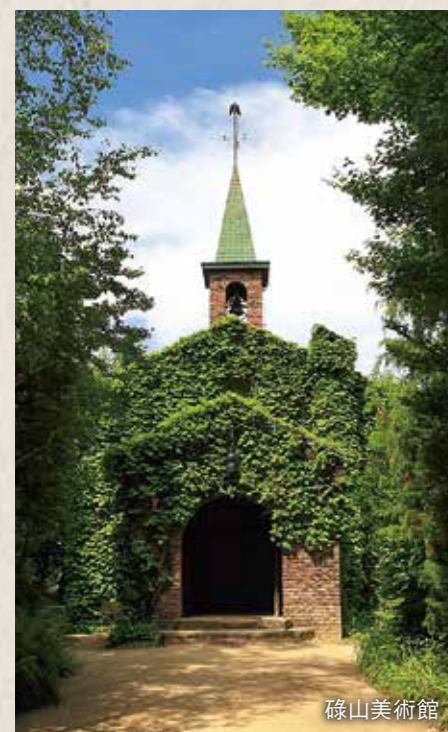
山麓線から東を見下ろせば、拾ヶ堰の豊富な用水が作り上げ、何世代にもわたって守られてきた広大な田園風景や点在する屋敷林が視界いっぱい広がります。



冬の北アルプス



廃線敷



碌山美術館



御船祭り



天蚕

〈文化・芸術・伝統工芸〉

穂高神社の御船祭りや三九郎など、長年にわたって築き上げられてきた文化が、安曇野に息づいています。

安曇野市やその周辺には、「碌山美術館」や「豊科近代美術館」をはじめ大小様々な美術館や博物館そしてギャラリーがあります。

安曇野の伝統工芸には天蚕業があげられます。淡緑色の独特な光沢と優美な風合いを持つ天蚕糸は、「繊維のダイヤモンド」ともいわれています。



わさび畑

〈産業〉

農業が盛んなイメージのある安曇野市は、商工業が盛んな街でもあります。特に精密機械や電気機械の生産が盛んで、世界に誇れる製品を作り出す企業が多く存在します。

また市の中心部には、大型店から昔ながらの商店まで様々な商業施設が並び、街のにぎわいを創り出しています。

〈食・名産品〉

蕎麦やわさびはもちろんですが、安曇野には、北アルプスの良質な水が育む米や野菜、りんごなどの果実、信州サーモンやニジマスといった川の幸など、多くの食材があります。

また、わさび漬やおやき、凍り餅といった郷土料理も息づいており、地ビールやワインも生産されています。

そして、地元の方や移住された方が経営するカフェやベーカリーには、市内外から多くの方が訪れます。



工業団地

〈安曇野と水と道祖神〉

安曇野を象徴する風光明媚な風景は、先人たちが拾ヶ堰など数々の水路を引き、安曇野の地に豊富な水が行き渡るまでの長い歴史の流れが生み出したものです。

安曇野をめぐる道々で道祖神が迎えてくれます。それらもまた安曇野が豊かな田園地帯になったからこそ生まれた、いわば豊かさの象徴なのです。

安曇野の歴史は豊かな水の流れとともに、今日もゆるやかに刻まれています。



拾ヶ堰



道祖神

※拾ヶ堰は、平成28年11月8日国際かんがい排水委員会において「世界かんがい施設遺産」に登録されました。

安曇野市での移住・定住を成功させるコツ



新しい土地に移住し定住することは、気候や風土、地域の方々の関わり方、暮らし方などを理解することから始まります。その土地の特色を十分に理解し、その土地を好きになれるかが、移住・定住を成功させるカギとなります。

安曇野市での移住・定住を成功させるためのコツをいくつかご紹介しますので、ぜひ参考にしてください。

〈冬に下見をしましょう〉

比較的快適に過ごせる春や秋の安曇野を訪れて、移住を検討される方がとても多いですが、冬の安曇野にも下見にお越しください。

マイナス 10℃を下回る日もあり、雪かきや車の冬用タイヤへの履きかえ、水道管の凍結防止など、冬の安曇野の厳しさを知らない人にとっては、初めてのことばかりです。しかし、厳冬期の澄みきった空気の中の北アルプスや安曇野の景色は格別です。厳しいかもしれませんが、冬の安曇野に少しでも慣れ親しんでいただき、移住を検討していただければ幸いです。

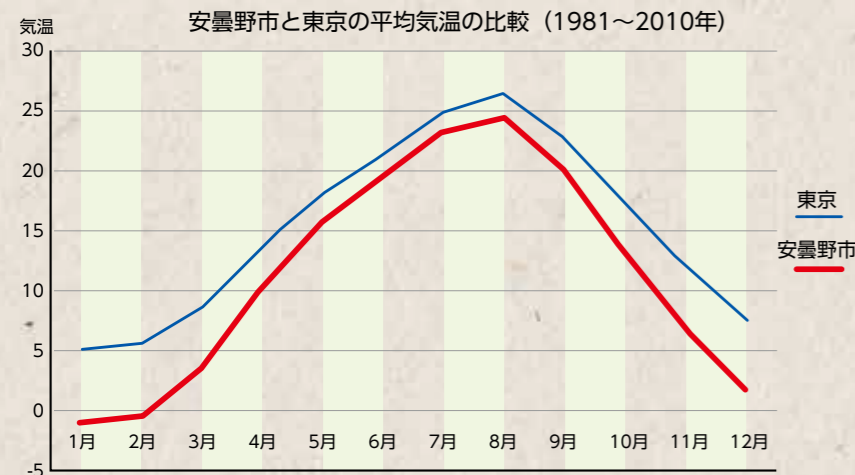


〈車があると便利です〉

安曇野市での生活は、車があると便利です。市内に点在する大型商業施設や農産物の直売所などでは、日常生活に必要な物が揃い、広い無料駐車場があるため、車で移動しながらまとまった買い物ができます。

また、道幅が広く見通しの良い道路が整備され、高速道路のインターチェンジも市内にあるため、長野県の二大都市のひとつである松本市をはじめ、車での市内外の移動が容易です。

ただし、冬は路面の凍結や冬用タイヤへの履きかえなど、都市部とは勝手が違う部分もありますので、ご注意ください。



〈人づきあいもあいさつから〉

初めての土地での生活習慣や文化、生活するうえで守るべきルールやマナーを知るには、やはり地元の方との人づきあいからです。

まずは日常のあいさつから始めてみましょう。あいさつの積み重ねが、地元の方との接点へと発展していくはずですよ。

〈区に加入しましょう〉

区とは住民主体の自治組織で、市内には 83 の区があります。区では暮らし方のルールやお祭り、環境美化活動、運動会などを区民の話し合いによって決めています。また、地域防災にも取り組んでおり、全区に自主防災組織があります。

まずは自分の住む区で行われている活動に少しずつ参加し、区に住む方々と良好な関係を築いていくことが、定住への一歩になるでしょう。



安曇野市 防災マップ <https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/4/11752.html>

市では、危険箇所や避難所などの最新の防災情報を掲載した『安曇野市 防災マップ』を市内全戸に配布しています。マップは市ホームページからもダウンロードできます。



安曇野に暮らして“見えたモノ”

移住者へのアドバイス

安曇野との出会い

安曇野との出会いは大学1年の時。旅が好きで全国各地で美しい風景を目にしていたのですが、初めて降り立った穂高駅のホームから見た雄大な北アルプスを望む田園風景は、それまでに味わったことのない新鮮な感動でした。この時の体験がその後の人生の大きなターニングポイントになったと感じています。1995年に転職して信州へ移住。その後結婚、長女の誕生を経て2002年に独立開業しました。

安曇野が選ばれる理由

これまで多くの移住者のお手伝いをしてきましたが、移住者が求めているのは都会的な利便性を享受しつつ豊かな自然の中で暮らす「田舎“的”暮らし」です。景観の美しさだけでなく、生活の利便性や雪の少ない気候、移住者が多い地域が好まれているのです。これらの条件を満たしている安曇野は、田舎暮らしがブームになるずっと前から、多くの移住者の人気を集めています。

“見えないモノ”の大切さ

移住者が求める「田舎“的”暮らし」は、観光客が旅先に求めるイメージに近いかもしれませんが、移住とは「暮らし」であり、旅先を選ぶように「いいとこどり」はできません。目の前に「見えるモノ」だけでなく、その背景にある「見えないモノ」をしっかり見る眼力が求められているのです。人口約10万の安曇野は、江戸時代の旧村を

単位とする83の「区」の集合体です。安曇野の「区」は任意の自治組織ですが、お祭りや公民館活動、防犯防災といった暮らしのインフラとして今でも重要な役割を担っています。美しい景観と豊かな暮らしを享受するには、移住者も地域コミュニティの一員として、一定の責任を果たす義務があるのです。

新たなふるさとづくりへの取り組み

安曇野市が誕生した翌年に仲間と立ち上げたのがNPO法人安曇野ふるさとづくり応援団（以下NPO）。安曇野でも数少ない、地域住民と移住者が一体となって活動しているNPOです。NPOの主な活動は、移住支援と地域再発見。移住支援の柱は、2009年から開催している「安曇野暮らしセミナー」。2013年に安曇野市、2016年に安曇野暮らし支援協議会が主催となり、NPOが全面的に協力して定期的に実施しています。

地域再発見の柱は、9年間で23回開催した「ふるさとウォッチング」。「区」単位で地域を歩き、“ぬかくど”で炊いたおむすびを食べ、地域の人と交流を深める…、安曇野の「見えないモノ」を知るきっかけづくりのイベントです。2014年には「ふるさとさんぽ」、2015年には「さとやまさんぽ」も加わり、年間10回程度のガイドウォークを開催しています。

安曇野暮らしに必要なモノ

NPOの活動を通して感じるのは、安曇野の奥深さと移住

者と地域住民の交流の大切さ。多くの移住者が暮らしている安曇野でも地域住民との間に見えない壁が存在していますが、お互いの協力なしに地域の課題を解決するのが難しくなっているのも事実です。移住者だからこそ「見えるモノ」、地域住民にしか「見えないモノ」があり、だからこそお互いを尊重し協力して次代に引継いでいく責任があるのだと思います。

「見えないモノ」の大切さは、安曇野で暮らし、NPO等の活動に参加することで初めて実感できたものです。「見えるモノ」はテレビやネットでも入手することができますが、「見えないモノ」は人を介してしか知ることができません。

もし安曇野への移住を本気で考えているのなら、「見えないモノ」を見る知性と感性、異なるモノを認め合う柔軟性は欠かせません。それこそが自然と共に生きる安曇野暮らしの必需品であり、それによってのみ新たな時代の安曇野の扉を開くことができるのですから…。

NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
事務局長 宮崎 崇徳



安曇野に住んで得た宝

移住者の声



横田 耕太郎 さん

移住前の居住先：埼玉県
移住した年：2006年
現在のお仕事：ガイド兼
旅行業

なぜ安曇野こいわたけの小岩岳という山麓保養地を住処に選んだのか。一言でいえば、温泉のある暮らしをしたかったから。温泉だけなら信州には他にも多くの場所がありますが、登山で訪れる事も多かった松本地域。土地勘があった事が、安曇野を選んだ大きな理由です。単身である事は、町から離れ標高差もある山麓に住む選択肢を排除しませんでした。歳を重ねると日常生活に不便かもしれませんが、農産物は歩いて行ける範囲で手に入りますし、宅配もあります。デマンド交通で家から町まで行く事も可能です。ただ、唯一



残念なのは、ここは野生動物の住処で、家庭菜園が彼らの食事になってしまう事です。これは住んでみないとわからない苦労かもしれません。

そんな自然豊かな場所で、元々別荘地という事もあり住む人も多くなく、古くからの集落を中心とした区の組織は高齢化も進んでいます。最近では若い家族も多く住んでいます。朝はスクールバスによる送迎もあります。

コミュニティの弱い地域ですので、自分から積極的に町に出かける事は、健康のためにも大切です。幸い、土地を購入した時に知り合ったNPOの方に仲間に入れてもらえましたし、行政の委員会に関わる事で、幅も広がりました。安曇野に住んで得られた宝は、人のつながりです。

移住する前は工場に勤める会社員でした。人のつながり

も仕事つながりが中心とならざるを得ませんでした。生活は安定していましたが、何か足りない生活。

今はガイドとして里に山にと信州の自然を伝える仕事をしています。決して生活は楽ではありませんが、心身の豊かさには代えられない満足感があります。そして、将来を見据えて旅行業の資格を取りました。安曇野の宝をもっと発掘するのが、今の私の楽しみです。





鈴木 達也 さん

移住前の居住先：埼玉県
移住した年：2000年
現在のお仕事：農業
酒造業

私が安曇野で農業を始めたのは、信州大学を卒業し近隣の農業法人にお世話になった後、三郷の知人の土地を借りてからです。始めたころは、技術もなくお金もなく、雑草と残飯と牛糞を混ぜて堆肥を作り、それを撒いて野菜を育てていました。ところが、この野菜が思いの外美味しく育ったのです。数年後には加工トマトも小麦や大豆との輪作有機栽培となり、稲は合鴨農法に切り替えて農薬も化学肥料も不要になりました。安曇野の気候風土に感謝しています。

間もなく地域の若い農業者と協力して、「有機農家は孤立した変わり者ではない」こと

を宣伝しながら、販路拡大と理解のために動き出しました。農業体験や料理教室や食品加工、マルシェや軽トラ市などで消費者と交流を続け、最近では小学校と協力して、合鴨農法稲作りの食農教育をサポートしています。バジルクラブはこうした活動の企画、提案、援助をしています。

有機農業だけでなく、生活や気持ちまで循環するような「(住)環境保全型農業」。15年間安曇野に暮らしている中で、生活も農村の住環境に寄り添い融和して行くことが大切だと実感しました。田の畔草を地主や隣人が刈ってくれたり、合鴨が逃げていたら戻してくれたり、子供が小さい

時は隣のおばあちゃんが留守中に預かってくれたりなどなど。農村の許容は掛け替えない住環境であり、豊かさのバロメーターとも思います。

昔から様々な人が移住してきている安曇野市。個性を尊重しつつ折り合うことに慣れている市民には、ホスピタリーの精神が自然と宿ります。住環境を良くしたいと思う一人ずつの気持ちが強ければ、個性の輝く柔軟なコミュニティが生まれることでしょう。先に移住した我々や行政は、こうした個性こそ将来の資源として、育て絶やさぬ努力をするべきです。

なろうひとつずつに。そしてひとつに。



米山 竜也 さん

移住前の居住先：愛知県
移住した年：2010年
現在のお仕事：果樹農園
経営

私は、安曇野市三郷の^{みさと}小倉^{おぐら}室町区でリンゴを中心にごぶどう・プルーンなどを生産しています。前職は愛知県豊川市にある陸上自衛隊豊川駐屯地で勤務していました。そこで同僚を通じて安曇野市に住む妻と知り合い、結婚しました。休日になると、妻の実家が営む畑の手伝いをしたりしていました。

私が農業を始めた一番のきっかけは、義理の父親が亡くなったことによる後継者問題だったと思います。妻の実家は食堂と農園の経営をしており、食堂は義父と義兄が、農園は義母が経営していました。そんな中、2009年に義父に癌が見つかり、同年12月に

亡くなりました。義父が亡くなり、食堂を義兄が継いだことで、男手が必要な農園は後継ぎがいなくなってしまう、義母がすごく悩んでいたのを覚えています。亡くなる前に義父から、「娘と家族を頼みます。」という言葉が貰ったことで、私は農園を継ぐことを決意しました。

農業は楽しい、やってよかったと思うことは、色んな方との繋がりや仲間と切磋琢磨ができることだと思います。就農して6年目、独立して4年目になりますが、現在は同期や多くの仲間とも助け合い、果樹に関する情報交換や作業の手伝い、品物の援助など、お互いが得する様に、様々な



事に取り組んでいます。また、私の住んでいる室町の方々はとても親切に暮らし方から、果樹の剪定まで、色んな事を親の様に教えてくれました。

そんな室町の方々にも認めてもらい、今では区の一員として、役員などもやらせてもらっています。区の行事や市の交流事業として行っている、地元中学生の摘果作業体験の受け入れなどにも積極的に取り組み、将来的には保育園などにも果物を提供できるようになりたいと思います。

移住された方に質問してみました

Q1: 移住されたきっかけは？

Q2: 安曇野で普段どんな生活をされていますか？

Q3: 移住を考えられている方にメッセージを！



喜古 直嗣さん
移住前の居住先：埼玉県
移住した年：2012年
現在のお仕事：ソムリエ

A1 2011年の6月に、長女と同じ名前
の安曇野ちひろ美術館に行きました。
天気が良くて、青い空と豊かな緑、湧き
水の流れる川に感動し、その日以来ほぼ毎
月、安曇野に遊びに来ていました。以前か
ら、自然に囲まれた中で生活してみたいと
思っていました。なかなか踏み切れずにい
ました。そんな時、妻が二人目の子供を授か
り、長女の幼稚園の入園も重なったため、こ
のタイミングしかないと思い移住を決断しま
した。妻に反対されるかと思っておりましたが、
割と順調に進みました。

A2 2015年の5月に念願のマイホーム
ができ、庭を畑にして、野菜を作
ることが私の息抜きになっています。家族で
休める日には、自然を満喫しに行きます。
わさび農園やガイドに載っていない所を散
策したり、素敵なカフェやレストランで食

事したり、最近では、アルプスあづみの公
園の年間パスポートを買ったので休みのた
びに訪れています。移住するまでの13年間
ソムリエとして働き、移住後もその仕事を
続けています。婚礼などの場での仕事な
ど、仕事の幅も広がりました。また、様々
なワインイベントのお手伝いを通じてワイ
ナリーや同業の方々との素晴らしい出会い
もありました。安曇野にも安曇野ワイナ
リーがあり、ぶどうの収穫のお手伝いをさ
せて頂いたこともあります。松本までの通
勤途中に、大糸線の車窓から眺める北アル
プスには、今でも感動します。

A3 移住前に、Facebookなどでつな
がりを作り情報集めをしました。その
ときの縁で、現在の家を建てることが出来
ました。四季がはっきりしているので、野菜も
美味しいですし、何より自然を感じて生活
していると「生きてるなあ」と実感できます。

ただ、冬の寒さが
予想以上で、移住当
時借りていた家の築
年数が古かったこと
もあり、かなり寒
かったです。



小高 直樹さん
移住前の居住先：東京都
移住した年：2012年
現在のお仕事：会社員

A1 安曇野市三郷^{みさと}にあるゲストハウ
スに宿泊したことがきっかけで
す。元々東京を離れて自然豊かな土地で暮
らしたいという思いがあり、いくつか自分
が気になった場所を旅行する中でも、安曇
野は自分と家族にとっても豊かで落ち着く時
間をもたらしてくれました。ゲストハウス
が縁でたくさんの仲間にも恵まれ、この土
地であれば自分が思い描く生活が出来ると
思い、移住を決断しました。

A2 田舎に移住してゆとりのある時
間を過ごしているのではないかと
思う人が多いかもしれませんが、生活リ
ズムは東京にいた時とそれほど変わってい
ないと思います。仕事やプライベート、家
族との時間など、自分のやりたいことに時
間を費やしているの、かえって忙しくし
ているように見えるかもしれません。それ

でも時間に追われていることはなく、安曇野
での様々な人との繋がりの中でたくさんの刺
激をもらっています。また東京ではそれほど
感じなかった季節の移り変わりの美しさを肌
で感じ、北アルプスの雄大な姿を間近に見て
いると、日々気持ちもリフレッシュされま
す。東京にいる時にはなかなか体験出来な
かった、味噌作りや干し柿作りなどをするこ
ともあり、穏やかで刺激的で感謝に溢れた
日々を過ごしています。

A3 移住するために必要なことは、まず
生活する家を見つけること、そして何
よりその土地を好きになることだと感じてい
ます。これ以外については、その土地を気
に入って移住するのであれば何とかかな
りかなと思えます。私自身も移住してから仕事を見
つけました。ただ、事前に季節ごとに通って、
地元の人と話してみ
る、実際に生活をす
るイメージを持ちな
がら滞在する、と
いったことは大事だ
と思えます。



山下 美鈴さん
移住前の居住先：和歌山県
移住した年：2011年
現在のお仕事：建築・設計

A1 北アルプスから
八ヶ岳にかけての
エリアが好きで、独身時代
はもちろん、結婚して子供
が生まれてからも4人の子
供たちを連れて旅行をして
いました。移住を意識し始

めた時は、迷わず北アルプスがきれいに見
える松本・安曇野エリアで暮らす事を心
に決め、最終的には、ほどよく田舎で交通・
生活の便が良い安曇野市の街のエリアに自
宅を建設しました。

A2 私の一日は朝一番にブラインド
を開けて「今朝の常念岳」への挨拶
から始まります。歯磨きしながら、洗濯
物を干しながら、ご飯を食べながら、家事
をしながら…気がつけばいつでも、真夜中
でも窓の外の常念岳を見えています。移住前
から変化したのはこの常念岳を眺める事く
らいで、主人も私も今まで通りに家業の設

計事務所の仕事をしていますし、「転校
生」だった子供たちは親の心配をよそに
すっかり「安曇野の子」になり、進学・就
職と次の段階にステップアップしても長野
県に暮らしています。私自身は子育てが一
段落した事もあり、ロードバイク・スキ
ーを始め、カヌー大会の運営ボランティア
など安曇野の自然を楽しんでいます。近
ごろは、移住セミナーで体験談をお話する
機会等も頂き、自身の移住経験を基に様
々な形で移住希望者の皆さんのお手
伝いをさせて頂いています。

A3 「案ずるよりも産むが易し！」ア
レコレ迷ってばかりでは、移住計画
は進みません。小さな事からでも良いので、
移住に向けて行動を起こしてみてください。
そうする事で道は開けて行くと思えます。
お伝えしたい事は沢山あるのですがここ
では伝えきれないので、私のブログ「[長野移住計画
～安曇野に移住しちゃいました！](http://miz.naganoblog.jp/)」
をご覧ください。何かしら参考にして頂
けると幸いです。よろしくお願
い致します。

<http://miz.naganoblog.jp/>



Iターン信州(長野県)

長野県内へIターンを希望する方向けに、求人情報や生活関連情報などの提供を行っています。

問い合わせ先等 <https://www.i-turn.pref.nagano.lg.jp/>



ハローワークインターネットサービス(厚生労働省職業安定局)

求人募集している企業を検索したり、求職申込手続きのご案内もあります。

問い合わせ先等 <https://www.hellowork.mhlw.go.jp/>



安曇野市ふるさとハローワーク

市では、地域の就業促進のため、ふるさとハローワーク(地域職業相談室)を設置しています。スタッフが常駐し、求人情報などを提供します。

問い合わせ先等 ☎0263-71-1586
平日午前9:30～午後5:00(年末年始を除く)
所在地：安曇野市豊科 4960 番地 1
長野県安曇野庁舎 1階



北アルプス山麓に広がる環境の中で、その恵みを楽しんで「暮らす」ライフスタイルを支援します。



市民農園

市では、自分で野菜を栽培し収穫できる『市民農園』を市内10箇所で開設しております。自分で作った野菜を食べてみませんか。農園の空き状況については、市のホームページで公開しております。

問い合わせ先等 安曇野市農林部農政課マーケティング担当
☎0263-71-2430(直通)
<https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/29/1145.html>



就農支援室

安曇野市で農業を始めたい。農業法人で働きたい。そんな方に、まずはお気軽に相談いただく場として、『就農支援室』を設けております。就農希望の方の相談窓口としてはもちろん、就農された後も農業委員会や農協など一体となって、支援します。

問い合わせ先等 安曇野市農林部農政課集落支援担当
☎0263-71-2429(直通)

空き店舗等活用促進事業(家賃補助)

- 《説明》事業者(個人・法人)、商業団体、NPOなどが空き店舗を賃借して事業を営む場合に、家賃の一部を補助します。
- 《補助要件》商業団体、事業者などが空き店舗を商業(サービス業含む)など、集客に役立つ施設の用に供するために、経営支援員の承認を受け、新たに賃貸借契約を締結した物件
- 《補助率》家賃相当額に2分の1を乗じて得た額の範囲内とし、月額5万円を限度とします。(令和2年度で終了)

創業支援資金(融資制度)

- 《説明》市内での新規開業予定者又は開業後5年未満の新規開業者で、事業を営むための資金を必要とする場合、次の条件の融資をあっせんします。
 - (運転資金) 貸付限度額1,500万円、貸付利率年1.3%、貸付期間 5年以内(据置6か月)
 - (設備資金) 貸付限度額2,000万円、貸付利率年1.3%、貸付期間 7年以内(据置6か月)
- ※表示は令和2年度のもので貸付利率等は変動することがあります。

問い合わせ先等 安曇野市商工観光部商工労政課 ☎0263-71-2041(直通)

就農希望者

相談 情報提供

就農支援室

(市、農業委員会、農協など)

面談などを行う

就農支援室による
就農希望者への支援



【子育て環境】

《保育園》

市内の公立保育園は、全ての園が長野県の自然保育認定制度『信州やまほいく^(※)』の認定を受けています。自然保育は外遊びや自然体験などを通して、子どもの心身の成長を促す新しい保育のスタイルです。自然保育に適した豊かな自然環境を持つ安曇野市で、お子様を育ててみませんか。

《児童館》

市内には9箇所の児童館があり、0歳から18歳までのお子様と保護者が無料で利用することができます。児童館では子育て中の保護者向けの行事やイベントも行われ、身近な子育て相談の場としての役割も担っています。

※『信州やまほいく』とは

面積の約8割を森林が占める長野県は、南北に長く標高差もあることから、地域ごとに多様な文化が育まれています。

長野県では、豊かな自然環境や地域資源を積極的に取り入れた保育の普及を図ることで、信州で育つ全ての子どもが心身ともに健やかに成長できる環境を整備し、「子育て先進県ながの」を実現するために、「信州型自然保育認定制度」が設立されました。

詳しくは、ホームページ『信州やまほいくの郷』をご覧ください。



<https://www.shizenhoiku.jp/>

【公共交通機関】

市内にはJR大糸線・JR篠ノ井線が走っていますが、一部の区間以外は、路線バスなどは運行していません。このため、移動には車があるに越したことはありませんが、公共交通機関として「あづみん」という乗り合い型タクシーを市内全域で運行しています。「あづみん」は、平日のみ午前8時から午後5時まで9便運行していますので、医療機関への受診や買い物など生活全般にご利用いただけます。



【医療機関】

市内には病院が5箇所、常時開設している診療所が69箇所、歯科診療所が43箇所あります。

急に具合が悪くなって、かかりつけの医師が不在の際には、夜間急病センターで診療を受けることができます。

(月曜日から土曜日の午後7時から午後10時まで)

また、安曇野市には長野県で唯一の「県立こども病院(紹介外来制)」があり、高度な小児医療体制が確保されています。

【安曇野市の水】

安曇野市の水道水は100%地下水を使用しています。地下水の特徴は、おいしい・きれいなだけでなく、災害(特に震災)の影響を受けにくいという特徴があります。

その中でも、安曇野の水は「超・軟水」のため、お茶やコーヒーなど、素材の味を楽しみたい飲み物に適しています。また、ご飯がふっくら炊きあがり、和食に適しているなどの特徴もあります。水のきれいな安曇野市で生活してみませんか。

【安曇野暮らし支援協議会による支援】

「安曇野暮らし支援協議会」は、移住セミナーや現地ツアー、安曇野市おためし住宅など、移住定住のための制度づくりやイベントの企画などを通して、安曇野市に移住を希望される皆さんをサポートする組織です。詳しくは、安曇野暮らし支援協議会のホームページをご覧ください。

協議会構成団体

- 安曇野市
- 安曇野市商工会
- (一社) 安曇野市観光協会
- (公社) 長野県宅地建物取引業協会中信支部
- (公社) 全日本不動産協会長野県本部
- (公社) 長野県建築士会安曇野支部
- あづみ農業協同組合
- NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団
- 松本公共職業安定所
- 松本地域振興局

協議会の事業



安曇野暮らし支援協議会ホームページ
<https://azumino-ijyu.jp>



問い合わせ先等

安曇野暮らし支援協議会事務局
【安曇野市政策部政策経営課】
☎0263-71-2401 (直通)

【安曇野市おためし住宅】

市ではおためし住宅を開設しています。自分の家に住んでいるような感覚で滞在いただけます。安曇野での生活を実際に体験し、移住に向けた住居探しや就職活動にぜひご活用ください。

みさとおぐら

所在地：安曇野市三郷小倉 2185-2

おためし住宅の場所は、17～18ページの地図にも載せております。



※ご利用には条件があります。詳しくは、安曇野暮らし支援協議会ホームページをご覧ください。
※おためし住宅は、安曇野市に移住を考えている方が利用することを目的に設置された住宅です。観光等を目的とした利用はお控えください。

大滝山
2,616m

蝶ヶ岳
2,677m

常念岳
2,857m

横通岳
2,767m

東天井岳
2,814m

大天井岳
2,922m

燕岳
2,763m

有明山(信濃富士)2,268m

Azumino city MAP

安曇野市 全域マップ



おためし住宅
(16ページ)

安曇野市役所から
おためし住宅まで
車で約20分



- 子 … 認定こども園・幼稚園(公立)
 - 小 … 小学校(公立)
 - 中 … 中学校(公立)
 - 高 … 高等学校(公立)
 - ★ … 直売所
 - Ⓢ … 商業施設
 - +
 - … 市役所・支所
 - ◆ … 児童館(公立)
 - … 保健センター
- … 高速道路
 - … 主要道路
 - … その他の道
 - … 河川

人口：97,316人
世帯数：40,265世帯
(令和2年9月1日現在)

安曇野市の 施設紹介

保育園・幼稚園・認定こども園・地域型保育
 認定こども園(公立) …… 18施設
 保育園(私立) …… 1施設
 幼稚園(公立) …… 1施設
 認定こども園(私立) …… 2施設
 地域型保育(私立) …… 7施設

学校等
 小学校(公立) …… 10施設
 中学校(公立) …… 7施設
 高等学校(公立) …… 4施設
 児童館(公立) …… 9施設

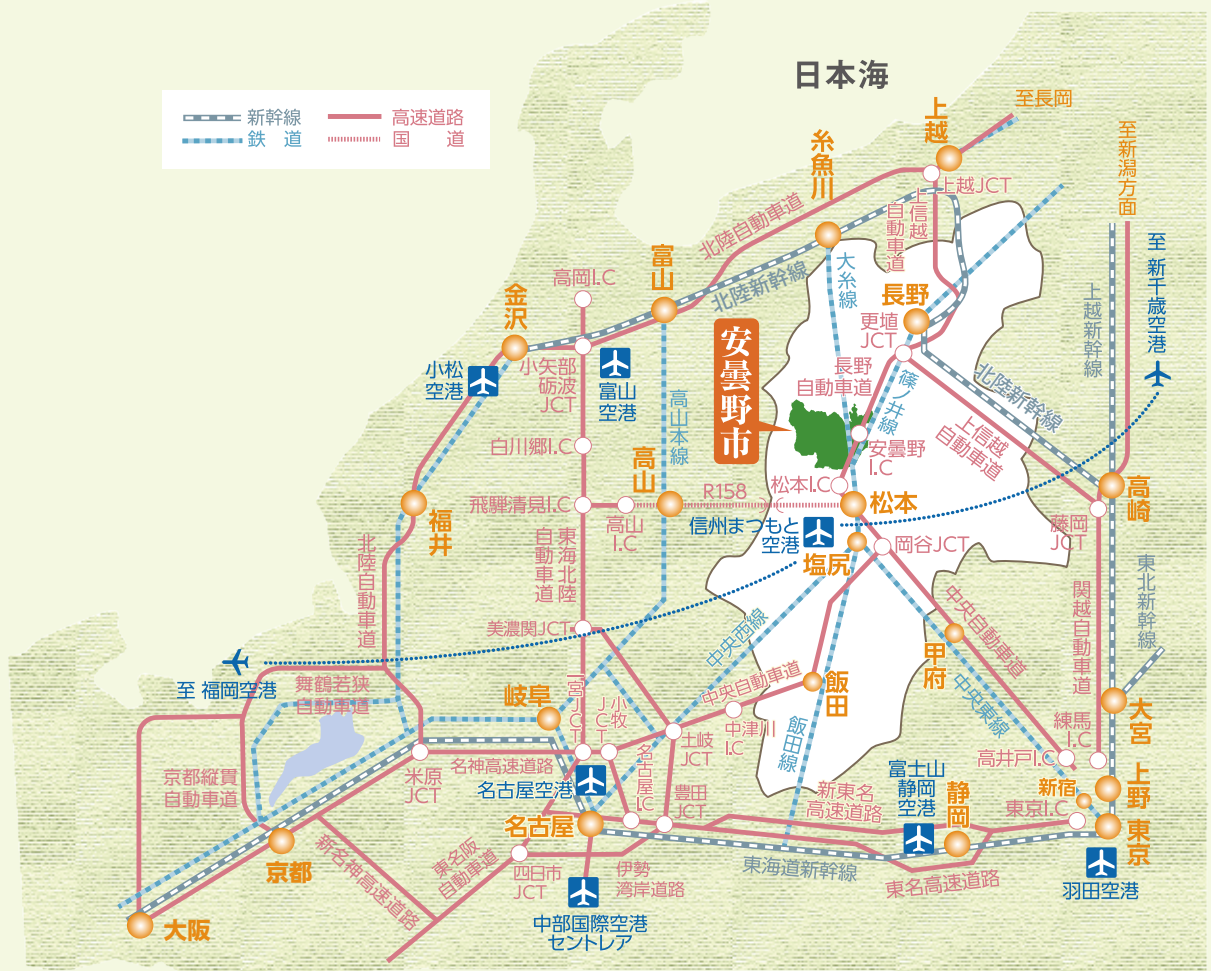
図書館
 中央図書館、豊科図書館、三郷図書館、堀金図書館、明科図書館

文化施設
 交流学習センター …… 3施設 美術館(公立) …… 2施設
 博物館・資料館(公立) …… 7施設 公民館 …… 5施設

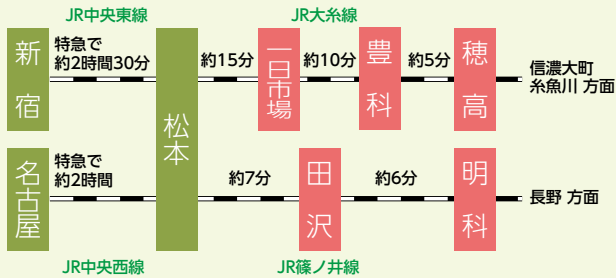
医療・福祉

病院 …… 5箇所	特別養護老人ホーム …… 10箇所	有料老人ホーム …… 19箇所
診療所 …… 69箇所	養護老人ホーム …… 1箇所	グループホーム …… 9箇所
歯科診療所 …… 43箇所	軽費老人ホーム …… 2箇所	
夜間急病センター …… 1箇所	介護老人保健施設 …… 5箇所	
保健・福祉センター …… 5箇所		

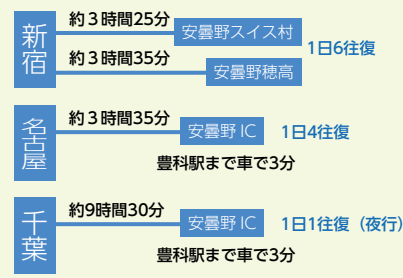
安曇野市へのアクセス



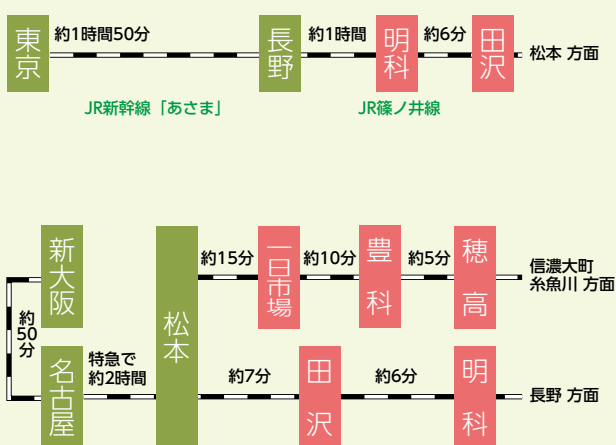
【特急列車をご利用の場合】



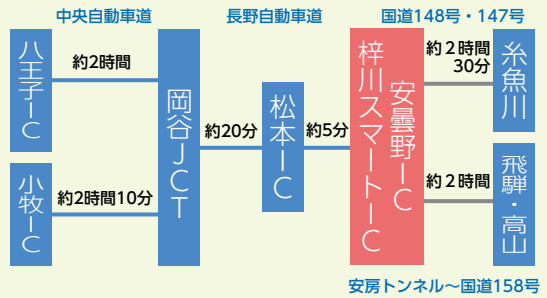
【高速バスをご利用の場合】



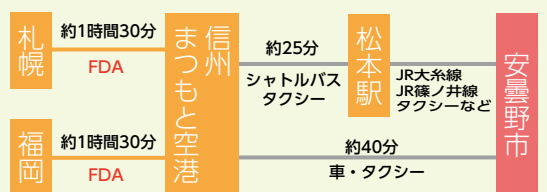
【新幹線をご利用の場合】



【自家用車をご利用の場合】



【飛行機をご利用の場合】



安曇野市 政策部 政策経営課

☎ 0263-71-2401 (直)

〒399-8281 長野県安曇野市豊科 6000 番地 FAX.0263-71-5155

ホームページ <https://www.city.azumino.nagano.jp>

